

## 懇談会及び意見聴取に対する回答について

第2回懇談会及び意見聴取にてご意見等をいただいた内容について下記のとおり回答をまとめたものです。

事業名等	各事業に対するご意見	回答・見解
<p>①</p> <p>【第2回懇談会】 ○第3章圏域の将来像 (2) 地域資源の活用・地域の活性化〔図表5〕</p>	<p>「紫電改展示館」「かわうそ村(海の駅)」を載せてもよいのではないか。</p>	<p>〔図表5〕に掲載いたしました。</p>
<p>②</p> <p>【第2回懇談会】 ○第4章具体的取組 (1) 生活機能の強化に係る政策分野 ⑬インバウンド対策事業</p>	<p>インバウンド対策事業について、飲食店のメニュー等、圏域事業者の多言語化が遅れているように感じる。そのような事業者の多言語化への取り組みについても事業に含まれるのか。</p>	<p>インバウンド対策事業の中で実施します。</p>
<p>③</p> <p>【第2回懇談会】 第4章具体的取組 (1) 生活機能の強化に係る政策分野</p>	<p>農業や漁業で後継者不足と言われているが、将来子ども達が地元へ戻ってきてくれるよう、故郷のいいところ、産業を体験してもらう事業を行えるとよいのではないか。圏域の範囲で地域・ふるさとを体験してもらうような事業を教育面に盛り込んでもらいたいと思う。</p>	<p>児童魅力発信事業として子ども達に圏域の魅力を伝える事業を実施します。</p>
<p>④</p> <p>【第2回懇談会】 第4章具体的取組 (2) 結びつきやネットワークの強化</p>	<p>道路整備については書かれているが、交通網には記載がない。バスや鉄道も大変厳しい状況で、地方ではハイヤー業者の撤退している所もあり、高齢者の足の確保が重要になっている。このことについて何かひとつでもビジョンに入れて、公共交通の円滑な運営を考える機会としてもらえないか。</p>	<p>現在、各市町では交通網計画の策定を進めております。公共交通分野については、地域要件や利用者層の相違もあり、各市町担当課と確認を行い、本件については連携事業である共生ビジョンで実施するのではなく、各市町それぞれで取り組むということに至りました。</p>

## 資料②

事業名等	各事業に対するご意見	回答・見解
<p>⑤</p> <p><b>【第2回懇談会】</b> 第4章具体的取組 (2) 結びつきやネットワークの強化</p>	<p>国道整備促進事業について、高知県に向かう中山間地域を通る国道381号についても少し取り上げてもらいたい。</p>	<p>国道381号等に関する整備促進事業について、関係市町の担当者と協議を行いました。国への整備促進を求めていく圏域市町のみによる既存の協議会等が存在せず、本共生ビジョンへ組み込むことはできませんが、愛媛県及び高知県の関係市町からなる「しまんと流域道路整備促進協議会」がそれらの活動を担っており、その協議会において、しまんと流域における道路等の整備促進活動を行って参ります。</p>
<p>⑥</p> <p><b>【意見聴取】</b> 第3章圏域の将来像 (2) 地域資源の活用・地域の活性化〔図表5〕</p>	<p>鬼北町の特産品に鬼北の米・豚・鶏卵・牛乳を追加する。</p>	<p>〔図表5〕に掲載いたしました。</p>
<p>⑦</p> <p><b>【意見聴取】</b> 第4章具体的取組 (2) 結びつきやネットワークの強化 ⑱ 国道56号一本松・宇和島間整備促進事業</p>	<p>具体的にどういう形で要望するのか。 津島道路の開通は10年先の予定、その間生活道路である国道56号のカーブの切り取り拡張や登坂車線の整備等の要望をしていただきたい。</p>	<p>市長、町長など協議会役員で、中央の国土交通省官僚と愛媛県選出国會議員などと面会し、四国横断自動車道の早期整備と、国道56号の見通しの悪い屈曲部の解消などを求めてまいります。 なお、現在の国道56号の整備中箇所は、宇和島市側で、歩行者の安全な通行を確保するため、和霊歩道の整備、愛南町側で、日常交通の安全性と快適な走行性向上のため、増田視距改良工事を実施中です。</p>